

先端医療レポート

グッドクター
Goo Dr.

選ばれる病院

こじま肛門科

正確な診断ときめ細かな技術をもとに、ほぼすべての手術を日帰りで実施しているのが特徴だ。

こじま肛門科は、痔の治療で近畿圏で高い実績をもつ。小島修司院長に治療方針を伺った。



院長 小島 修司

平成2年福井医大卒。平成9年こじま肛門科開設。肛門病の手術経験数約2万例。

Hospital Data



こじま肛門科

所在地	兵庫県明石市本町1-6-10 ヴェッセルコジマビル3階
URL	http://www.newton-doctor.com/doctor/hyogo/kojima/s28/
TEL	078-911-8501
FAX	078-911-8576
診療時間	午前 9:00~12:00(月~日) 午後 17:00~20:00(月~金)
休診日	年末年始

痔核の手術は一回で九七%が完治

痔には、「痔核」「裂肛」「痔ろう」という三つのタイプがあります。男女ともに最も多いのが「痔核」（いぼ痔）で、当院でも患者さんの半数を占めています。

痔核の手術は、超音波メス（ハーモニックスカルペル）を使って行います。

このメスの特徴は術後の痛みが少ないことで、術後の出血も○. 1%にとどまっています。肛門内



る内痔核に対しては、薬品を注射することで治す「ALTA」（ジオン注射）療法も行っています。この療法は手術より負担は少ないのですが、症状によっては適用できないので、術前の正確な診断が大切になります。

痔核は切り取ってしまえば治るもので、当院では九七%の方は一回の手術で治っています。毎日の排便時に出血や痛みがあると辛いので、当院では「手術をしたほうが楽になりますよ」とお勧めしています。局所麻酔なので、手術中も冗談を交えながら、リラックスしていただけるように努めています。

痔ろうではシートン法を実施

二番目に多い痔は、男性では「痔ろう」で、女性は「裂肛」です。肛門周辺に膿のトンネルができる「痔ろう」は、手術をするしかありません。当院ではトンネル部にゴムを通すことで膿

を排出する「シートン法」という術式を用いています。この方法はゴムが自然にとれるのを待つため完治には時間がかかるのですが、トンネルを切り取る手術に比べると副作用が少なく、取り入れる医院が増えてきています。当院では九八・八%の人は一回の手術で治っています。

裂肛（きれ痔）は、おもに座薬で治療します。当院では調合軟膏を処方しており、難治性の裂肛も治るなど、治療率は非常に高いですね。また、長年



の裂肛で肛門が狭くなってしまった方に対しては、肛門を広げるSSGという手術を行っています。

どの手術も日帰りで行っていますが、万が一手術後に強い痛みや出血などがあれば、二四時間体制で対応しています。来院する患者さんは乳幼児から九〇代までいらっしゃいます。半分くらいは女性の患者さんですから、ご希望なされば女医が対応することもできます。医師や看護師など医療関係者の来院も多いですね。手術も含め全治療を保険の範囲内で行い、経済的にも時間的にも患者さんの負担が少ない治療に取り組んでいます。

便通異常に関する検査設備も整っており、なかには直腸がんが見つかる患者さんもいます。痔を治すには、原因を把握することも大切です。治療後も快適な排便生活を送れるよう、今後も診断・治療技術を磨いていきたいと思っています。